

会議結果報告書

1 会議の名称

光市休日診療所運営協議会

2 開催日時

平成30年7月26日（木）13時15分から

3 開催場所

あいぱーく光 いきいきホール

4 出席人数

委員12名中11名出席

行政関係者4名出席

5 公開・非公開の別

公開

6 会議の議事録（主旨）

（1）開会

（2）市民憲章唱和（省略）

（3）委嘱状交付（省略）

（4）市長あいさつ（省略）

（5）委員自己紹介（省略）

（6）会長あいさつ（省略）

（7）議題1 光市休日診療所運営状況について

ア 平成29年度利用状況について

イ 平成30年度運営体制及び4月～6月分利用状況について

A 事務局説明（省略）

B 質疑応答

なし

(8) 議題2 その他

平成29年救急出場状況

A 赤星公一委員説明（省略）

B 質疑応答

(A) 出場件数と搬送人員の差について

(委員)

出場件数と搬送人員にかなり差があるのはなぜか。

(赤星委員)

一概に言えないところもあるが、軽症であったため、現場に到着した時には要らないという場合がほとんどである。

(B) 二次搬送における医師の同乗について

(委員)

休日診療所から、あるいはクリニックから二次搬送する場合に医師が同乗するか否かの決まりはあるのか。

(赤星委員)

原則、医師の同乗が必要である。

(C) #7119について

(委員)

救急車を呼ぶ前に、#7119で、ある程度対応していただけて、その場ですぐ呼んでくださいとアドバイスをいただけたら、呼ぶ場合にはそちらからも呼んでもらえたりするというような話を聞いたが、これは全国的なものであるか。光市でもそういうことはあるか。

(赤星委員)

全国的に#7119はあるが、救急車を呼んだりする機関ではなく、あくまでも相談窓口のようなものである。

今後努力していく部分としては、救急車の適正利用を訴える前に、そういう機関があるということを周知するとともに、どういう時に救急車を呼ぶかということをしつかり広報していくことが一番ではないかと思っている。

(D) 薬剤師の人員不足とシステムの改修について

(委員)

インフルエンザの流行に伴い、年末年始だけでなく1月、2月の患者が多くなっている。現在インフルエンザの治療薬は吸入の薬が主流になっており、説明するのに一人当たりの時間が結構かかっている。他の休日診療所等ではお薬手帳、お薬の袋、お薬の説明書は自動発行であるが、ここではすべて薬剤師が手書きで対応している。現状、人員が足りないため人員の配置や、印字発行については次のシステム改修時には、ぜひご検討いただき予算化していただきたい。

(事務局)

平成28年、29年の2年間、インフルエンザが流行したことや、市民にお薬手帳持参の意識が定着してきたこと、また薬剤に対する説明責任というものが発生してきていることなど、業務が煩雑化してきていることで皆様に大変なご苦労をかけている。

これについては、予算の絡みもあるため、今、ここで結論を出すということは難しいが、今後の検討課題とさせていただき、スムーズな運営ができるよう努めていきたい。